

考古学研究室

(2008年4月～2009年3月)

- 4月1日 阿部芳郎教授, 1年間の特別研究。テーマ「縄文時代遺跡の学際的調査研究方法の開発」 「縄文土器の多様性・構造的に関する研究」。佐々木憲一准教授が専攻主任に就任。専任助手に平田 健(博士後期課程)が再任, 草野潤平(博士後期課程)が就任, T.A.に中村新之介(博士前期課程)が再任, 鷹見悠介(博士前期課程)が就任。人文科学研究所 R.A.に日隈広志(博士後期課程)が再任(学術フロンティア推進事業「日本古代文化における文字・図像・伝承と宗教の総合的研究」担当)。
- 4月12日 明治大学博物館友の会主催講演会『日本考古学2008』が以下の内容で開催された。石川日出志教授「長野県柳沢遺跡の銅戈・銅鐸, 佐賀県桜馬場遺跡と末盧国について」, 佐々木准教授「古墳時代霞ヶ浦西岸地域の首長系譜の継続と断絶」, 高瀬克範専任講師「先史時代の植物利用再考」, 深澤敦仁氏(群馬県埋蔵文化財調査事業団)「成塚向山古墳 群馬県の最近の調査成果から」。
- 4月19日 考古学実習室・資料室と博物館考古部門の見学を中心とする新入生歓迎会を開催。
- 4月26日 石川教授, 2008年度北海道考古学会研究大会『続縄文文化とは何か』において基調講演「続縄文文化と弥生文化—鉄器を中心として—」をおこなった。
- 5月1日 人文科学研究所 R.A.に及川穰(博士後期課程)が就任(学術フロンティア推進事業「日本古代文化における文字・図像・伝承と宗教の総合的研究」担当)。
- 5月17日 高瀬専任講師, 雑穀研究会にて「縄文時代のイネ科雑穀利用」を発表。
- 5月17日 教員と大学院生の合同勉強会「どんぐり会」第1回を考古学実習室で開催。博士前期課程の院生による卒業論文の成果, ならびに修士論文執筆に向けての発表をおこなった。
- 5月24日 考古学研究室より学術雑誌『考古学集刊』第4号を刊行。
- 5月24日～25日 日本考古学協会第74回総会で, 石川教授が理事に選出。25日, 石川教授「埋蔵文化財発掘調査資格制度をめぐって」と題して研究発表。佐々木准教授, 高瀬専任講師らも参加。
- 6月2日～5日 高瀬専任講師, 第4回東アジア考古学会参加のため中国に出張。4日, *Archaeobotany of Barnyard Millet (Echinochloa) in the Jomon Period.* を発表。
- 6月8日 考古学実習Ⅰ(1年次春期)として群馬県岩宿遺跡・岩宿博物館を見学。安蒜教授, 石川教授, 佐々木准教授, 高瀬専任講師が指導, 平田助手, 草野助手, 中村 T.A., 鷹見 T.A.および大学院生が指導補助。
- 7月12日 考古学実習Ⅰ(2年次)の事前学習を実施。安蒜教授, 石川教授, 佐々木准教授, 高瀬専任講師が指導をおこなった。
- 7月28日～8月8日 石川教授, 考古学実習Ⅱ(3年次)として宮城県山王(囲)遺跡資料の整理をおこなった。実習生1名および一般参加の2年生3名, 大学院生3名が参加した。
- 7月29日～30日, 8月7日～8日, 10月25日 佐々木准教授, は考古学実習Ⅱ(3年次)として, 長野県大室古墳群第201号墳出土土器の整理作業を実施。実習生1名および, 1年生7名, 2年生2名, 3年生4名, 大学院生2名が参加した。期間中, 茨城県舟塚古墳出土円筒埴輪の水洗もおこなった。
- 7月31日～8月1日 高瀬専任講師, 考古学実習室にてオープンキャンパスの模擬授業「遺物を

読む〜みて、ふれて、考えよう〜」をおこなった。草野助手が補助にあたった。

- 8月1日 安蒜教授, 考古学実習Ⅰ(2年次)として武蔵野台地野川流域を踏査, 本学校地内遺跡調査団発掘調査資料の見学をおこなった。2年生5名, 大学院生6名が参加した。
- 8月2日 佐々木准教授, 考古学実習Ⅰ(2年次)として長野県大室古墳群を踏査。2年生12名が参加し, 中村 T.A.が指導補助にあたった。
- 8月2日 高瀬専任講師, 考古学実習Ⅰ(2年次)として神奈川県大塚・歳勝土遺跡および周辺の踏査, 横浜市歴史博物館の見学を実施。2年生25名, 平田助手, 草野助手が指導補助にあたった。
- 8月4日〜8日 安蒜教授, 考古学実習Ⅱ(3年次)として新潟県荒屋遺跡出土石器群の整理作業をおこなった。実習生1名および一般参加の1年生1名, 大学院生7名が参加した。
- 8月5日 高瀬専任講師, ロシア連邦カムチャツカ地方アナヴガイ2遺跡, ラズデーリヌィ遺跡にて発掘調査を実施した。
- 8月26日〜27日 石川教授, 考古学実習室にてオープンキャンパスの模擬授業「遺物を読む〜みて、ふれて、考えよう〜」をおこなった。平田助手が補助にあたった。
- 8月30日 佐々木准教授, イングス・ミーティング2008『権力の成立と都市』にて「権力の成立と都市—研究史・理論・課題」を発表した。
- 9月1日 安蒜教授, 国際交流基金事業で来日中のセネガル研究者 Dr.CAMARA の訪問を受けた。
- 9月2日〜11日 高瀬専任講師, 青森県江豚沢遺跡の発掘調査を実施, 大学院生・学部生も参加した。
- 9月13日 日本考古学協会第4回公開講座『はじまりは登呂遺跡』で, 石川教授が「登呂遺跡の学史的評価と新たなイメージ」と題して講演。
- 9月14日 高瀬専任講師, 『弥生シンポジウム 食べ物からみた徳島の弥生時代』にて「縄文・弥生時代の雑穀利用」を講演。
- 9月15日〜19日 高瀬専任講師, 考古学実習Ⅱ(3年次), レプリカ法による先史時代植物利用の研究として, レプリカ標本の作製, 観察などをおこなった。実習生1名, 一般参加の1年生3名, 2年生2名および3年生2名が参加した。
- 9月21日 石川教授, 考古学実習Ⅰ(2年次)として千葉県市川市姥山貝塚, 曾谷貝塚, 堀之内貝塚などを踏査。2年生10名が参加, 鷹見 T.A.が指導補助にあたった。
- 9月27日 公開研究会『東北の原像—縄文と弥生・続縄文—』にて, 石川教授「中部・北陸・東北地方の変動期」, 高瀬専任講師「本州島北部における縄文/弥生変動期—津軽平野の検討から—」を研究発表。
を研究発表。
- 9月30日 吉村武彦教授を代表者とする平成20年度文部科学省「大学院教育改革支援プログラム」複眼的日本古代学研究の人材育成プログラムが採択。石川教授, 佐々木准教授が分担者として出席。
- 10月2日 佐々木准教授, 長野市教育委員会史跡大室古墳群整備委員会に出席。
- 10月12日 日本考古学協会設立60周年記念講演会『大学考古学と地域研究—縄文研究の最前線—』をリバティホールにて開催。考古学研究室が共催したほか, 阿部教授「『環状盛土遺構』と地域社会」, 島田和高兼任講師「大学考古学と博物館」と題し講演した。
- 10月20日 研究室主導編集で卒業生による論文集『地域と文化の考古学Ⅱ』を刊行。

- 10月24日 佐々木准教授, 矢島國雄博物館学教授, 忽那敬三博物館学芸員らと, 茨城県虎塚古墳の一般公開に先立つ石室内の点検をおこなった。
- 11月8日～9日 日本考古学協会 2008年度大会(於 南山大学)にて石川教授は「埋蔵文化財発掘調査資格制度をめぐって(2)」と題するポスターセッションを発表。佐々木准教授, 草野助手らも参加した。
- 11月9日 (故)小林三郎教授, 大塚初重名誉教授, 石川教授, 佐々木准教授, 草野助手による『信濃大室積石塚古墳群の研究Ⅲ—大室谷支群・ムジナゴ—ロ単位支群第168号墳の調査—』を刊行。
- 11月14日 三木弘氏(大阪府教育委員会技師)の博士論文公開報告会を開催した。
- 11月16日 考古学実習Ⅰ(1年次秋期)として千葉県立房総のむら資料館を見学, 竜角寺古墳群, 龍角寺跡を踏査した。安蒜教授, 石川教授, 阿部教授, 佐々木准教授, 高瀬専任講師が指導, 平田助手, 草野助手, 中村 T.A., 鷹見 T.A.および大学院生が指導補助として参加した。
- 11月17日～20日 吉村教授・石川教授・佐々木准教授が大学院 GPにより韓国・慶北大学校に出張, 学生交流協定締結の協議をおこなった。
- 11月22日 考古学実習成果報告会をリバティタワー1143教室で開催した。あわせて, 藤田健一氏(本学校地内遺跡調査団特別嘱託)による東京都下原・富士見町遺跡の資料整理報告をおこなった。
- 11月30日 日隈 R.A., 及川 R.A.が人文科学研究所 R.A.を退任。
- 12月1日 日隈広志, 及川穰が大学院 R.A.に就任(大学院 GP「複眼的日本古代学研究の人材育成プログラム」担当)。
- 12月4日 佐々木准教授, 南カリフォルニア大学で What Analyses of Burial Mounds Suggest? と題し, 古墳時代考古学入門を講演した。
- 12月5日～11日 安蒜教授, スヤング国際学術会議宮崎大会に参加。6日にはセッション 1-a 司会, Obsidian Culture and Obsidian Road.を講演した。
- 12月7日 第312回スタッフセミナーにて陳国梁(中国社会科学院考古研究所)『東アジアにおける最古の都邑の探索—二里頭遺跡の発掘調査を研究—』を発表。石川教授によるコーディネーター。
- 12月12日 安蒜教授, リバティタワー貴賓室において, クラスノヤルスク教育大学(ロシア連邦クラスノヤルスク市)との大学間協力協定書調印式に出席した。
- 12月19日 考古学実習室, 年末大掃除および忘年会。
- 1月17日 日本考古学協会, 西アジア考古学会, 日本中国考古学会, 東南アジア考古学会主催 第2回公開講演会『外国人研究者がみた日本考古学』をリバティタワー1011教室で開催。本学文学部が後援し, 佐々木准教授は基調講演「アメリカ考古学と日本考古学を考える」をおこなった。
- 1月21日 「どんぐり会」第2回開催。『考古学集刊』第5号(2009年5月刊行予定)に執筆エントリーした教員, 大学院生の研究発表および討論をおこなった。
- 1月25日 考古学研究室創立59周年記念日。考古学専攻拡大同級会の開催。
- 2月9日 卒業論文発表会をアカデミーコモン 311D教室で開催。当日は岡本東三兼任講師による千葉県安房洞窟遺跡の調査成果なども報告された。
- 2月21日 高瀬専任講師, 第10回北アジア調査研究報告会(於 東京大学)にて「ロシア連邦カムチャツカ地方アナヴガイ2遺跡の調査」を共同発表。

- 2月28日 兼任講師打ち合わせ会をおこなった。
- 3月1日～8日 石川教授，科研費基盤研究（C）の一環として茨城県北原遺跡の発掘調査を大学院生，学部生とともに実施した。
- 3月5日 佐々木准教授，中華人民共和国社会科学院考古学研究所にて「首長制理論と日本古代国家の成立」と題し講演。
- 3月10日～15日 佐々木准教授，茨城県西原11号墳の測量調査を実施。大学院生2名・学部生7名が参加した。
- 3月31日 高瀬専任講師，『江豚沢遺跡発掘調査概報（2008年度）』を刊行。
- 3月31日 平田助手，草野助手，中村 T.A.，鷹見 T.A.，日隈 R.A.，及川 R.A.が任期満了に伴い退任。佐々木准教授，専攻主任を退任。